



令和4年11月度の活動



11/13 ネイチャーウォークラリー:当日は、マウンテンバイクのレースが有り、予定していたコースを外れて、少し急な斜面を歩きこども達へ迷惑を掛けましたが、元気に最後まで歩いてくれました。休憩場所では、ネイチャークイズを親子で楽しみ、予定のコースを歩きました。



11/17(木):森づくり、今回は、少し場所違いの感がありますが、予定していた花壇が、12月末に返却になるので、急遽、この場所にチューリップの球根を植付ける事にしました。今後は此処に草花を植付け、山間の花壇にしようかと思っています。

箱根で見られる植物「セキヤノアキチョウジ」
和名 セキヤノアキチョウジ
花の時期 9・10月
内容 袋状のような青い花を咲かせています。
秋の路傍で見かける植物のようです。



「シキミ」
・宮城県及び新潟県以西の本州、四国、九州及び沖縄に分布するシキミ科(あるいはマツブサ科)シキミ属の常緑樹。各地の山林に分布するが、光沢のある葉が美しく、サカキやヒサカキと同様、神仏事に使う実用性のある木として、江戸時代から寺社や墓地等に植栽される。
・木全体に強い香りと毒性があり、乾燥させた葉や樹皮を線香(抹香)の原料にしたこと、土葬の時代は動物に掘り起こされないよう、シキミの枝葉を共に埋葬したという風習から、ハカバナ(墓花)と呼ばれ、地方によっては縁起の悪い木として庭に植えるのをタブー視する。秋の彼岸に咲くヒガンバナにもハカバナという別名があり、同じように扱われる。



ネイチャーゲームってなに？

ネイチャーゲームは、1979年アメリカのナチュラ リスト、ジョセフ・コーネル氏によって発表された自然を直接体験するプログラムです。四季折々の身近な自然の中で(あるいは大自然の中で)、五感を使って自然を直接体験するのです。しかも、大人も子どもも目を輝かせて、わくわくドキドキしながら。あるいは集中して、深く自然と関わります。



里山保全活動 令和4年12月度予定

🍁🍁《親子体験学習》🍁🍁

- ◇日時 令和4年12月4日(日) 9:30~15:00頃
 - ◇集合場所・時間 仙郷の森(多目的広場)・9:15
 - ◇活動場所 仙郷の森(多目的広場)
 - ◇対象者 小学生親子・中学生・高校生・一般(大学生・社会人)
 - ◇活動内容 県民森づくり大作戦: ネイチャーゲーム・輪切りクラフト・竹細工
 - ◇服装 長ズボン・長袖上着・運動靴
 - ◇参加費 参加者1人 保険代300円
 - ◇持物 飲み物・タオル・筆記具・マスク・帽子
- ※参加者の方は11/30までに連絡をお願いします。(090-2689-6913(須藤))



※雨天: 中止

『里山会公文名ファイブのファイブとは?』

- ・農地・森林の荒廃地を防ぐための活動
- ・里山を利用した福祉活動(健康づくり・体不自由な人も利用できる森づくり)
- ・里山に生息する動植物の増殖(落葉広葉樹を殖やす)
- ・里山文化の復活(子供たちへの継承)
- ・地域のコミュニケーションづくり

“この五つを基本として活動を行っています。”



🍁🍁昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集🍁🍁

- 🍁日時 毎週木曜日🍁活動時間 10:00~14:00
 - 🍁集合場所: 仙郷の森(多目的広場)🍁対 象: 森づくりをやりたい方
 - 🍁活動場所 仙郷の森(多目的広場)🍁活動内容 雑木・竹伐採片付け等・落葉広葉樹植樹
 - 🍁参加費 無料🍁服 装 作業できる服装 ※道具はお貸します。
 - 🍁持 物 弁当・手袋・帽子・飲料水・マスク
- ※参加してみたい方で、木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。090-2689-6913
- ※活動場所が分かりにくいので、参加者に後日、連絡します。

豊かな森は、自然からのかけがのない恵みです「森と環境」

子どもたちに木造校舎(を)!

木造校舎の良さが見直されています。転んだときに木が衝撃を受け止めてくれるので痛くない。木のやさしい触り心地と色あいに、ほっとする、落ち着く。温度と湿度をコントロールしてくれるから、夏も冬もすごしやすい。驚くことにインフルエンザによる学級閉鎖も少ないというデータもあるようです。また、子どもの頃から木とふれあうことは、木や森への思いやりの心を育み、地球や自然について考えるきっかけにもなるでしょう。現在、国が「公共建築物等木材利用促進法」によって、学校の木造化・木質化を促進しています。なつかしい木造校舎は、先進の校舎です。



木の家は、森と同じ。

世の中は、鉄やコンクリート、プラスチックなどの便利な新素材であふれています。なのに、日本人の8割以上が「木の家に住みたい」と思っているそうです。なぜでしょう? 動物は木のない所では生きていけません。人間も、木に囲まれた所がいちばん気持ちよくて、健康に暮らせる場所だと本能で知っているのかもしれませんが。地球の目で見ても、木の家はとてもいいことをしています。森で大きくなる時に体にためたCO2を、そのまま大気中に出さず、蓄えておけるのです。木の重さの約半分が炭素(たんそ)と言われていいますから、その量は相当なもの。つまり木の家は、街にもうひとつの森をつくり、守っていくことと同じなのです。



「野鳥・昆虫が寄ってくる森づくり」をNPO法人里山会公文名ファイブが仙郷の森で行なっています。是非、遊びに来て下さい。



地球は、人間だけが住むだけの場所ではない、動植物が一諸に暮らす場所です。

